

大阪インターナショナルチャーチ： ブルース・アレン牧師

ローマ人への手紙 2:17-29 現代英語版 (注記を除く)イエスの高い召しに従う者たち

2023/10/29

説教

おはようございます OIC。

OIC..大阪インターナショナル教会。今朝、私が世界中の多くの人々に説教しているとき、あなたの牧師は喜びでいっぱいです。あなたも私もまだ完璧ではありません。私たちが天国にいるように。しかし、私にとって、あなたを見ると、あらゆる部族や文化グループが見えるように思えます。聖書が私たちに預言しているとおりです (黙示録 7.9/Mounce) : **この後、私は見よ、誰も数えることのできないほどの大勢の人々、あらゆる国、部族、文化集団、言語の人々が玉座の前とその前に立っていました。白い衣を着た子羊、手にヤシの枝を持っている...**あなたの牧師の願いは、聖霊と協力して私たち全員が私たちの唯一の主人である主イエスに似るようになることです。私たち一人一人が自分たちの文化を維持することです。イエスの主権に反対する場合を除いて、グループです。私たちにあってより正確な名称は、「大阪インターカルチュラルチャーチ」かもしれませんが、変更するつもりはありません。

さて、ローマ人へのパウロの手紙の次の部分に移りますが、パウロはイエスのいないユダヤ人の具体的な罪を明らかにしています。彼はむしろ皮肉を込めて、律法に対する自分自身の正しい従順に頼っているユダヤ人が実際には偽善者であると指摘しています。

R. 17 使徒パサテ、ローマ人へのパウロの手紙の次の部分に移りますが、パウロはイエスのいないユダヤ人の具体的な罪を明らかにしています。彼はむしろ皮肉を込めて、律法に対する自分自身の正しい従順に頼っているユダヤ人が実際には偽善者であると指摘しています。ウロは、救世主イエスに対するユダヤ人の主張の多くを代表して、想像上の敵対者の正しい称号または身元を確認しています。

1) ユダヤ人 キリストを分かち合った私の経験では、私の言うことを聞かない絶対的な理由として「ユダヤ人」という称号を主張するのはユダヤ人だけです。単純に「ノー」と言う人もいるかもしれません。

2) ... 律法に安らぐ パウロはすでに、純粋な心から律法に完全に従うことは誰にもできないと宣言しました。したがって、この中に安全な休息はありません。

3) ……神を誇る事 パウロは、神がユダヤ人たちを、行動のない空虚な言葉で自慢するように呼びかけたことを示し、また繰り返します (ローマ人への手紙 2.24)。(下記)

朗読 18 節 あなたは律法で教えられているので、神の御心を知っており、より優れたものを承認します。パウロはユダヤ人の自己評価と同じ路線を続けますが、偽善者による罪の有罪判決に対する称賛を逆転させ始めます。

18 節の「あなたは神 (神の) 意志、あるいは神が望んでいることを知っています (NLT) …」という言葉の確信。 神の律法を主張するユダヤ人の無知による不敬虔の言い訳を消し去ろうとしている。(ヤコブの手紙 4.17/MEV) にあるように: したがって、善を行うことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪です。

19 あなたは、自分が目の見えない人の導き手であり、暗闇にいる人たちの光であり、20 愚かな人々の指導者であり、赤ん坊の教師であると確信しています。 {そしてあなたは}、法律の知識と真理の完全な内容を持っています。 。

自信は、イエスを真に信じる者の心の中にある強力な贈り物です。 信者の信頼は神の言葉と、信仰によって生きる信者の生活における聖霊の個人的な行為にかかっています。 パウロは、19 節のユダヤ人の自信はキリスト抜きであり、したがって罪深い自分または悪魔に対する誤った自信であることを知っていました。

パウロは、愚か者に教えていると主張するユダヤ人が聖書の根拠を持っていることに気づきました (詩篇 14.1) 愚か者は心の中で「神などいない」と言っています。 彼らは腐敗しており、忌まわしい行為を行っています。 これは、神ではなく動物や彫像を崇拝した異教の宗教者を指します。 パウロがローマ人への手紙 1 章 3 節で述べたように、彼らは朽ちない神の栄光を、朽ちる人間、鳥、四本足の獣、はうもののような像に変えました。 そしてローマ人への手紙 2.1 裁く者たち (ユダヤ人) も同じことをするのです。 、それは明らかに墮落した異教徒が表面的に行うのと同じように、あなたの心の中にあります。 したがって、ユダヤ人は、神が自分に愚か者を教えることができるようにしてくださっていることを知っていて、独善的であったのです。 パウロは再びはっきりと宣言します。 唯一の神が存在することを知っているだけでは、神とともに正しく立つには十分ではありません。 同様に、赤ん坊 (未熟な /NLT) の教師として、あなたは彼らに何を教えるのかという質問に対する答えを求めます。 イエスが示したように、ファリサイ派ユダヤ人は改宗を促すという意味で「伝道的」でした (マタイ 23.15 AKJV)。

偽善者である律法学者とパリサイ人たちよ、あなたたちは災いです! なぜなら、あなたがたは一人の改宗者を作るために海と陸を巡回し、その人が作られるとき、あなたがたはその人を自分たちの二倍の地獄の子にするからである。

次に、法律の知識と真理の完全な内容を持っていると主張する人に質問が投げかけられます (v. 20)、なぜあなたはそれを実践しない、つまり自分自身を教えないのですか? (v. 21) 以下のリスト 敬虔なパリサイ人とユダヤ人の罪は、パウロにとっても同じであったという個人的な経験によるものであったに違いありません。 彼は、盗み、姦淫、神殿強盗 (貴重な偶像を所有していると考えて間違いなし) を含む彼らの行動を直接知っていました (v. 21)。

R. v. 23 ユダヤ人は律法を知っていると周囲に自慢した。 しかし、世界は彼らがそれを破ったことを知る事ができました。 これは事実上、律法を中傷し、したがって神を中傷するものであり、冒瀆です。

したがって、24 節には、「あなたのせいで、神の名が異邦人の間で冒瀆されている」と書か

れているとおりです。NIV スタディバイブル (NIVS) によると「書かれているとおり」という言葉は、(イザヤ書 52.5) からの引用で明らかです。

では、わたしの民がただで連れ去られたのを見て、わたしはここに何を持っているのでしょうか、と主は言われます。彼らを支配する者たちは彼らを嘆かせる、と主は言われる、そしてわたしの名は一日中絶えず冒瀆され続ける。「これは、イスラエルの追放と異邦人による抑圧が人々を神ご自身の不信に導いた方法を指しています。皮肉なことに、パウロはそれを、契約上の義務を果たさないユダヤ人に適用している。」(NIVS)

R. v25-27 パウロは、神に選ばれた民のためにアブラハムに命じられた信仰契約への従順な決意の行為としての、ユダヤ人の身体における割礼のしるしである肉体的な行為またはしるしに関する肯定的な考えから始めています。パウロは、アブラハムが**律法ではなく信仰の父**であることを知っており、後にローマ人への手紙で深く語ることとなります。(創世記 17. 11) で神はアブラハムにこう言われました。「あなたは包皮の肉に割礼をしなければなりません、そしてそれは私とあなたの間**の契約のしるし**となるでしょう」。

(ローマ人への手紙 2. 25) でパウロは、**律法を守るのであれば、割礼には確かにメリットがあると言っています...**しかし、以前に指摘したように、ユダヤ人も他の人間も、単に強制するだけでなく、心から律法を守ることはできません。パウロがイエスに出会う前にパリサイ人として行っていたように、自分自身も一連の規則に従う必要がありました。さてパウロは、ユダヤ人に対して自分の主張を確固たるものにするために、律法を完全に守る異邦人は真に割礼を受けていると述べています。パウロのテーマは常に**信仰から信仰へと**移っているため、パウロは異邦人が律法を守ろう、あるいは守ろうと努めるべきだと主張しているわけではありません。しかし、ユダヤ人という名前を持っていても、あるいは身体に肉体的なしるしがあっても、神の義を持つという点で異邦人よりも有利になることはありません。

黙示録 28-29 章

私は、ビリーバーズ・バイブル・コメンタリー (BBC) の最後の 2 節のこの要約が好きです。

「神の計算では、**真のユダヤ人**は、単にアブラハムの血が静脈に流れている人、または体に割礼の跡がある人ではありません。人はこれらの両方を持ち、道徳的には地球のクズである可能性があります。主は人種や宗教といった外部の考慮事項に振り回されることはありません。彼は内面の誠実さと純粋さを求めています。」

そしてパウロは (1 コリント 2. 2) で、人類の罪の問題に対する神の唯一の解決策として「**私はあなたがたの間でイエス・キリストと十字架につけられた方以外には何も知らない**と決めただけです」と宣言しました。キリストを受け入れることによって、罪人は内なる誠実さと純粋さを備えた新たな被造物となります。

パウロがここで述べている革命的な声明、そしてこのローマ人への手紙の後半でさらに詳しく述べるのは、**すべてのクリスチャンは新しい霊的ユダヤ人であり、真に新しい創造物である**ということです。教会は、新約聖書が明らかにするように、ペテロが (1 ペテロ 2. 9) で教えたように、**新しい霊的イスラエル、神の聖国**です。

しかし、あなたは選ばれた種族であり、王の祭司職であり、**聖なる国民**であり、神の所有物である民であり、あなたを暗闇から神の驚くべき光の中に呼び出してくださった神の善良さを宣言するためです。

旧約聖書と新約聖書におけるすべての神の約束は、(その国家の精神的価値とは無関係に) ユダヤ国家の存在を除いて、キリスト教徒、つまり以前はユダヤ人であった者と異邦人のみに向けられたものですが、キリストにあってはすべて新しいユダヤ人です。、よろしければ。パウロが割礼に関するユダヤ人の主張を口頭で破壊したことにより、これが彼の明確な結論となっています。神が私たちの信仰の父であるアブラハムとの信仰契約のしるしとして与えたもの。ユダヤ人たちは信仰そのものを証明していたのです。パウロは後ほど(ローマ人への手紙 3.2)、聖書を忠実に守っているユダヤ人たちの功績を認めます。それは主に神の託宣が彼らに委ねられていたからです。しかし、これは彼らの永遠の運命を変えるものではありません。それはすべて、神の許しを買うイエス・キリストの犠牲への信仰への信仰によって生きることにあります。

このように、私たちは新生信者として、神の聖なる御言葉によって内面的にはユダヤ人であると宣言されており、イエスへの信仰によって救いを受けたとき、割礼の心を受け取ったからです。これは素晴らしいことであり、とても謙虚なことです。そして、29 節に次のように書かれているように、自分にはふさわしくないという思いが神からの賞賛を拒否するとしたら、私たちは間違いを犯します。

彼の賛美は人間からではなく、神からのものです。

このメッセージには、キリストのいないユダヤ人の偽善に対して多くの否定的な内容が含まれています。私たちはクリスチャンとしての生活の中でいかに簡単に偽善者になってしまうかを認識する必要がありますが、ローマ人への手紙のこれらの箇所は、クリスチャンが神に対していかに素晴らしい立場にあるかを示しています。私たちが古い性質と悪魔とあらゆる闘いをしながら全能の神から賞賛を受けることは可能であるということを知ってください。このような励ましを受けて、私はこの説教の題名「**イエスの高い召しに従う者たち**」を特にこの終わりに当てはめて、私たち全員に挑戦を提示することに導かれていると感じています。

しかしまず、私は OIC が私たちの教会を訪れるすべての人に対する神の愛の道具であることを賞賛しなければなりません。輝かしい 49 周年記念式典...ただただすごい...それは皆にたくさんの愛が注がれた、まさに神聖な交わりでした。先週の日曜日のこの愛の流れは、私の心に聖書の言葉を思い出させます(第一コリント 13.13)。それで今、**信仰、希望、愛**、この 3 つを堅持してください。しかし、その中で最も偉大なものは**愛**です。それで、牧師があなたを褒めた後、牧師は次に何をしますか? 彼はこう言います: 神からの祝福が神の子供たちに与えられると、彼らはさらに多くのものを他の人に与えたいと思うようになります。イエスが語られたように(ルカ 12.48) と言うのは否定的なことではありません。

なぜなら、多くが与えられる者には、多くが求められるからです。そして、多くを託された彼には、多くのことが求められるでしょう。

そこで、ローマ人への手紙 1 章からローマ人への手紙 2 章 29 節までの最後の 3 つの説教をカバーするこの質問をします。

ローマ人への手紙の説教にある神の御言葉は、ここ OIC での信仰から信仰への私たちの生活にどのような影響を与えているのでしょうか？

神は愛をもって私たちに、ユダヤ人が律法のもとで果たせなかったことを、キリストにあって御言葉と御霊によって行うよう求めておられます。これは、生きることについての包括的、つまり「全体像」を述べたものです。ご存知のとおり、私は聖なる信者の皆さんに挑戦しようとしています。使徒パウロが神の御子に敵対し、自分が愛そうと望んでいた神の敵となったことに気づいた直後に言ったことを思い出すように、私たち一人一人に強く勧め、勧めます。（使徒行伝 9.6）で、彼は震えて驚いて言いました、「主よ、あなたは私に何をしてくださるのでしょうか？」私たちがイエスの足もとにへりくだって、こう尋ねない限り、私たちの人生は優柔不断と疑いで満たされることになるでしょう。私たちが心から尋ねたとしても、神は無限の忍耐をもって、何年にもわたってイエスの答えを聞くように私たちに教えてくださることがあります。しかし、神は必ずこの質問に答えてくださいます。約 2 年前、私はイエスが私たちの罪のために死んだという良い知らせを日本でどのように伝えるかを準備しようと決め、いつか神が何らかの方法で私たちを日本に連れ帰ってくださるよう祈りました。私は、1) 日本語で 1 節を暗記できる、2) 非キリスト教徒は短時間の集中力で聞くことが多く、できるだけ少ない言葉で心に直接伝わるものが必要であるため、簡単な種を植える聖書の言葉が必要であると信じていました。また、私が住んでいた米国マサチューセッツ州のメトロボストンとその周辺地域で種子を植える活動を支援するために、この戦略を試してみるべきだと気づきました。

聖霊が私にペテロ第一 3 章 18 節「キリストは罪のために一度だけ死なれたから」を使うよう感動させられたと信じています。義人が不義者に代わって、私たちを神のもとに導くためです。これは私の人生で最も素晴らしい経験の一つの始まりでした。

最初は、この説教師でおしゃべり好きでも緊張していました。それから、聖霊の促しが一部の人々に強くなり、私は見知らぬ人の横を歩くとき、彼らの目をまっすぐに見るように心がけました。はい、日本人がそれを好まないのはわかっています。しかし、罪人の抵抗を打ち負かすのが聖霊の仕事です。私たちが自分の仕事をするなら、神はその仕事をしてくださると喜んで信じられるのでしょうか？ 罪人が救われるためには、これがすべての文化で起こらなければなりません。私たちがこの社会で悪魔の畏にひざまずき、接触を避け続けるなら、キリストのために救われる魂はほとんどないだろう。私の大都市ボストンの多くのアメリカ人もそれを好まない。しかし、神は何度も現れて、私がイエスの福音を分かち合うことを許可してくださいました。

リスナーの中には「もう準備完了！」と言って立ち去る人もいます。キリストを拒否するコメント。主は私が緊張することを望まなかったので、最初に世間話をしてもいいなら、私に御霊を感じさせてくださることがよくありました。これは私が自然にやっていることです。ここ日本では、その贈り物が恋しくなるだろうと思っていました。なぜなら、贈り物には言語の流動性が必要だからです。しかし、大阪は私を待っていません!!!だから私はあなたを呼びます。

これらの集会の中で最も力強い集会の一つは、10月1日に私がここ OIC で説教する前の土曜日の電話でのことでした。旅行ではそんなことをする時間がほとんどなかったので、経済的な問題を調べなければなりません。この会話の中で、私は日本の携帯電話しか持っていないため、Capital One でクレジット カード アカウントにサインインできないことへの不満を表明しました。気がつくともカスタマーサービス担当者との口論になっていた。御霊は私を落ち着かせ、自分がコンピュータシステムによって制限されていることに気づきました。私が聖書の一節を分かち合いたいと申し出たとき、神は私の態度を即座に変えました。はい！私が（1ペテロ 3.18）と分かち合うと、彼は興奮して、「この会話は録音されていますが、福音を恥じないクリスチャンに出会えた喜びを伝えなければなりません！」とまで言いました。

この兄弟はイエスのために危険を冒して私に福音を伝えるよう勧めてくれました。昨年12月以来、ここ大阪で直接説教するのは初めてで緊張していると私が言うと、彼はさらに続けました。神は10月1日に、この顧客サービスマンが私に与えた「福音を恥じない」というまさに聖書の言葉を私が説教することをご存じでした。

さて、これで私はあなたに挑戦することになりました！私の説教にはこのような偶然というか摂理があり、キャピタル・ワンの顧客サービスマンが自分の仕事を危険にさらしてイエスが私たち全員に挑戦していたような気がします。そのカスタマーサービスの従業員と使徒パウロに何か言うリスクを冒してみませんか？「なぜなら、私は福音を恥じてはいません。なぜなら、最初にユダヤ人に、次に異邦人に、信じるすべての人に救いをもたらすのは神の力だからです」。(ローマ人への手紙 1.16/NIV)?

さあ、祈りましょう....

AKJV - 公認キング、ジェームズ版は、英国のクラウンの特許権者であるケンブリッジ大学出版局の許可を得て複製されています。

BBC - ビリーバーズ聖書解説、著作権 © 1989、1990、1992、1995、2016 by William MacDonald.

MEV - 現代英語版、聖書 Copyright © 2014 by Military Bible Association. カリスマハウスより発行・販売。 -

MOUNCE - マウンス リバーズ インターリニア™ 新約聖書 (MOUNCE) 著作権 © 2011 by William D. Mounce. 許可を得て使用しています。すべての権利は世界中で留保されます。

「リバーズ インターリニア」は、William D. Mounce の商標です。

NIV スタディバイブルの著作権 © 1985、1995、2002、2008、2011、Zondervan 著。